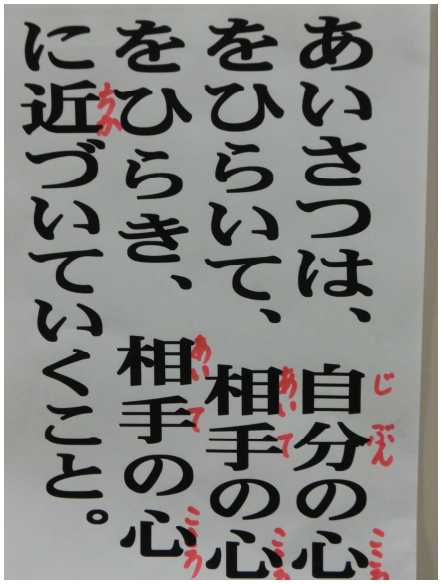
かがやけ　あさひ

校長室だより　6月　2号



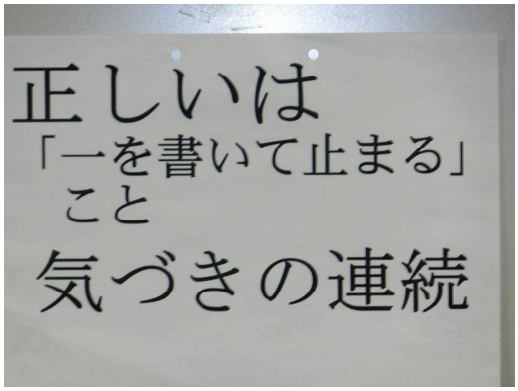
あいさつは

４月のはじめに【あいさつ】の標語を示しながら話をしてきました。

【あいさつ】は、「あかるく、いつでも　さきに　つづけて」を心がけてほしいと…。

この【あいさつ】の「あい」には、心を開くという意味、「さつ」には、その心に近づくという意味があります。要するに、あいさつとは、自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為なのです。

このように、あいさつは「あなたの存在を見つけました。よろしくお願いします」という人間関係をスタートさせるためのコミュニケーションの第一歩といえます。ですから、自分では挨拶をしたつもりでも、小さい声で「どうも」とか「おはようございます」というだけでは、相手にきちんと伝わるあいさつとはいえませんね。相手の目を見て、明るく、元気よく、心を込めてするのがあいさつの基本です。



漢字は本当によくできているのもだと感心します。『正』という字は、《一に止まる》と書きます。もし迷ったら初めの一に戻って、止まってそこから一度考え直してみるということなのですね。正しい判断ができてくるのだと思います。そのような中で気づきが生まれ、気づきの連続になるのではないでしょうか。

安全教室を開いたよ。

今年度、初めての試みで、クロネコヤマトさんの「子ども安全教室」の授業を受けさせていただきました。
なじみのあるトラックを使いながら、車は急には止まれないことやドライバーから死角があることなどを実際の体験を通して学びました。飛び出し事故さらには、トラックと並走しての巻き込まれ事故も身体をはって見せてもらいました。さらに、自転車に乗るときの三大原則、左三原則です。「左側から乗り、左側を通行し、左側から降りる」を徹底しなければならないことや、実際の自転車を使って前輪・後輪同時に急ブレーキをかけてから、どれくらいで止まるのかを体験しました。

ブレーキをかけて停止するのにかなりの距離が必要なことが分かり、交通ルールを守りながら、慎重に運転しなければならないことを学びました。

給食試食会　こんなふうにして食べています

日頃の給食が提供されるまでの、献立作成や食材の検品会、選品会、そして、実際の安心・安全を最重要視した調理についてお話ししました。生き物の命をいただいて食事をすることについても、元気に生きていけるという喜びや感謝の心を込めて、「いただきます」と声に出していきましょう。食育の大切さをあらためて感じています。